



みやぎ

- 33号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院  
 発行責任者 清野 仁  
 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

宮城病院のこれから 2012年夏



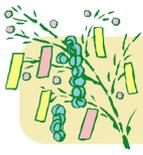
副院長 久永欣哉

昨年7月の広報で「宮城病院のこれから」を書いて1年になる。この1年で何が進展したかを列挙したいところであるが、様々なことが少しずつは前に進んだはずであるとしか言えなさそうである。私にとって身近なところでは室長を務める地域連携室に看護師長1名が加わって活動が活性化されたことや、医師事務補助員5名の採用により医師の業務が軽減されてきたことなどが印象的である。全般的には東日本大震災後の混乱を引きずりながらも比較的平穩に1年が過ぎて一息付いたというところであろうか。

一方、これからの1～2年を考えると大きな変化が生じそうな気配が漂っている。地域医療および神経難病・重症心身障害医療を2本の柱とする当院は今後、どの領域を拡大させ、どの領域を縮小させていくかの転換期・再編期を迎えることになるであろう。これまで当院でおこなってきた医療のなかではパーキンソン病医療は充実しつつあり、リハビリテーション医療とともにさらに発展を期したいところである。筋委縮性側索硬化症の医療については見直しが必要であろう。地域医療については近隣の医療機関との役割分担の問題がある。脳卒中や認知症の医療に関してはニーズの高さにどう対応していくかが課題である。地域の復興プログラムに歩調を合わせることも重要なことと思われるが、いまだ未確定なところが多く、イメージがつかみきれないのが現状である。ここ数年間の当院の堅調な経営状況により可能と思われた外来・管理棟の建て替えも、震災後の建築費の高騰や採算性で当院に不利な医療制度の変更もあり建築計画を具体化しにくくなってきている。

このような状況のなかで当院の今後の方向性を考えていく際には、医療ニーズがあること、採算がとれて病院経営が成り立つことも必要条件として考慮していかねばならない。しかしながら、最も大切なことは医療従事者のモチベーションであり、私自身はこれからの1～2年は目先の採算のことにはできるだけとらわれず、当院の医療従事者の意見に広く耳を傾けてモチベーションが高まっていく方向をじっくりと見極めたいという心境である。様々な事情で当院を離れていくスタッフがいる以上、不足している医師の確保を中心に新たなスタッフを確保していくことは急務ではあるが、まずは現場職員のモチベーションを視点の中心において当院の今後のビジョンを構築し、それを外に向かってアピールし、モチベーションを共有できるスタッフに参加してもらって確実に歩を進めていくことが当院の未来のためには重要なことであろう。

これを書いている今はオリンピックが始まったばかりだが、テレビをみても様々な政治問題などが急に影を潜めオリンピック一色になっている。観戦をしている人の心情もそれぞれであろう。夏はそれでも日々背負っている難題を一時忘れて祭りに興じ、また木陰で一休みする季節でもある。リセットし、リフレッシュして次の季節を活力と高いモチベーションを持って皆で迎えられればと願うばかりである。



## 第19回 仙南地域医療カンファレンス開催

平成24年6月26日(火)、当院大会議室において第19回仙南地域医療カンファレンスを開催しました。今回は東北大学大学院医学系研究科障害科学専攻機能医科学講座内部障害学分野教授、上月正博先生にお越しいただき、「超高齢化社会で元気に生きるために何が必要か?」と題しましてご講演をいただきました。

上月先生のお話しでは、日本は1970年に高齢化率が7%を超え、その後も超高齢化社会へと向い2050年には高齢化率35.7%に達すると見

込まれていること。さらに超高齢化社会は慢性期疾患が多くなり「日常生活動作の自立、要介護の軽減」のためのリハビリが重要になってくること、そして内部障害リハビリテーションが「心臓機能の障害、呼吸機能障害、腎機能障害」に大変有効であるとお話しをいただきました。

参加者からは、下肢筋力を鍛えることで呼吸機能が良くなることへの驚きの声や「歩くことが何となく体によいと思っていたが講演を聞き自信がもてました」という感想をいただきました。数年後には私自身も高齢者の一員となります。健康寿命を延ばしていけるように先生がお話しされていました。「息が切れない程度の、にこにこペースのリハビリ」を心がけていきたいと思えます。

最後になりましたが開催にあたりましてご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。またご参加いただきました皆様、次回のご参加もお待ちしております。(地域医療連携係長 大森 真由美)



## 大野和士こころふれあいコンサート2012を開催して

平成24年6月10日(日)、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者であり、2008年に紫綬褒章を受章されている「大野和士」さんをお招きし、「ふれあいコンサート」を開催しました。

大野さんは、フランスでもボランティアで社会貢献をされており、日本では帰国される度に各地の医療機関で「ふれあいコンサート」を開催されています。昨年も東日本大震災後に盛岡、石巻、仙台で今年は、郡山、仙台、山元、大船渡と被災した各地で開催しています。

当日は、南病棟の多目的ホールに90名程の患者さんと家族の方々が集まり、大野さんのピアノ演奏で、日本人のオペラ歌手4名の方々に「トゥーランドット」「ウエストサイドストーリー」など10曲程度歌を披露していただき、途中大野さんの軽快なトークを交えながら、最後に「ふるさと」を会場の皆さんと合唱し、あっという間の1時間でしたが、大盛況に終了しました。

美しいピアノの音色やオペラ歌手の方々の迫力ある澄んだ歌声で、患者さんの長期療養で塞ぎがちだった気持ちや震災で傷ついた心が癒された一時でした。

大野さん、本当にありがとうございました。(管理課長 大泉 英二)





## ふれあい看護体験を実施



6月8日(金)に「ふれあい看護体験」を行いました。昨年は東日本大震災に伴い開催を見送りましたが、今年は「看護師という仕事に興味がある」「看護師を目指している」という中学生・高校生・一般の方と年齢は様々でしたが19名という今までにない参加希望者を集め開催されました。

当日は、憧れの「白衣の天使」に変身し、施設見学、体験学習、各病棟での看護体験を行いました。はじめは緊張気味でしたが、互いに車椅子を押す練習や病院食の試食など様々な体験をしているうちに笑顔が増えてきました。病棟での看護体験では実際に患者様の手を洗わせていただいたり、車椅子を押して散歩を行えたことがよかったという意見が多く聞かれました。今回の体験を通して看護の楽しさを感じてもらい、一人でも多くの看護師が誕生してくれればと心から思います。

今回、この企画を行うにあたり、各部門・各病棟のスタッフの皆様には、快く協力していただき本当に感謝しております。来年度も、今年以上に様々なアイデアを出し合い、看護師を目指す学生が増えるように取り組みたいと作戦を練っております。来年度も皆様のご協力よろしくお願ひします。

(中央1病棟副看護師長 武田 由美子)



学生との集合写真

### 紹介医療機関 (6月末日現在) ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック (27件)
- ・三浦クリニック (13件)
- ・宮城県立がんセンター (12件)
- ・浜吉田駅前内科 (10件)
- ・仙台厚生病院 (8件)
- ・公立相馬総合病院 (19件)
- ・浜通りふれあい診療所 (13件)
- ・東北大学病院 (11件)
- ・みやぎ県南中核病院 (9件)
- ・金上病院 (8件)

上位10医療機関のほか、県内外97医療機関からご紹介いただいております。

# 診療案内

平成24年7月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	再来	今井 尚志	今井 尚志	松本 有史	久永 欣哉	
			伊藤 博明	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)	伊藤 博明	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)		
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 梅山 広勝 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科	新患				大隅 悦子 (14:00~15:00)	
放射線科(画像診断)				齊藤 美穂子		
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来			平岡 宏太良		
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史

## 受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

## 交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線巨理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

